

11年ぶり地区優勝



～ 部長のコメント ～

私たち野球部は昨年の新人大会は、1回戦で負けてしまい、悔しい思いをしましたが、今大会では優勝を勝ち取ることができてとてもうれしいです。

この大会で感じたことは、ベンチの雰囲気や声出しがとても大切だということです。相手にリードを許しているときのほとんどが集中力を欠き、雰囲気の悪いときでした。しかし、決勝戦では、ベンチからの声出しや観客席からの応援のおかげで、延長戦に入った後もよい雰囲気のままで試合を進めることができ、逆転勝利することができました。

「相手チームと自分のチームの技術の差を埋めるのは自分自身、一人一人の気持ち」だと常に先生は話されていました。他の部活のみなさんも「勝ちたい」「負けたくない」という気持ちを全面に出して、がんばってほしいと思います。

私は部長としてもっと成長し、チームを成長させることができるよう1日1日を大切に、県大会と夏の大会を笑顔で終われるようにがんばります。



～ 井上監督のコメント ～

先日行われた地区春季大会では生徒が今までの蓄えてきた力を発揮し、11年ぶりの優勝を果たすことができました。

昨年の新人大会では1回戦敗退という悔しい思いをし、冬の期間は毎日厳しいトレーニングを積む日々でした。その中で3年生の8名がチームの雰囲気を盛り上げ、妥協なく取り組むことで個々の力が向上し、チームの力も向上したことを実感しました。

大会では、南摩地区の方々の大応援に支えられ、幸せな環境でプレーをさせていただきました。5月31日から開催される県春季大会でも“一戦必勝”で全力プレーをしてきたいと思います。ぜひ、今後も応援をよろしくお願いいたします。



～ 副部長のコメント ～

2回戦の北犬飼中戦では二回に7点を取り、その後も失点なく守り切り、終始南摩中のペースで試合を進めることができました。

準決勝の北押原中戦では、井上先生からの指示を聞き、ピンチの場面でもしっかりと守り切って、県大会出場を決めることができました。

決勝戦の鹿沼北中戦では、戦う気持ちが大切だと改めて実感することができました。リードされている時間が長く続きましたが、観客席とベンチが一体となり、高い士気を保つことができ、「絶対に勝てる」と信じてプレーすることができました。そして、延長九回サヨナラで地区優勝を決めることができました。

県大会でも、最後まで勝てると信じてプレーすることを忘れずに、全力で戦ってきたいと思います。応援よろしくお願いします。

～ エースのコメント ～

投手を務めさせていただいて感じたことは、守備陣の心強さです。1回戦では先頭打者を四球で塁に出した際に、次の打者でダブルプレーをとってくれたことで落ち着くことができました。また、チームの打撃力の援護も大きかったです。特に決勝戦では失点してもすぐに点を取り、追いついてくれることが心の支えとなり、良い投球に繋がりました。バッティングは新チーム結成以来の課題でした。課題克服のため冬の練習から春季大会の前日までバッティング練習を中心にやってきました。冬の練習では、バッティングに大切な下半身を強化するために、様々なトレーニングをみんなと励まし合いながら行いました。雪が溶けてからはボールを打つようになり、チームのみんなが今までとは全く違う質の打球を飛ばすことができるようになりました。

応援をしてくださった全ての人に感謝し、県大会でも練習の成果を十分に発揮できるよう戦ってきたいと思います。

